

日刊県民福井 掲載記事 平成25年 10月 3日

# 日頃から意思を示す

あなたは自分や家族の臓器・骨髄提供について、どう思いますか。とはいえず、命のことを考えるのは難しいですよね。家庭では少し話しにくい部分もあるかもしれません。

私たちの体は、さまざまな臓器からなっており、これらが働くことで健やかな生活を送ることが出来ます。この臓器が、病気や事故で失われたり、機能しなくなると薬や手術では治療できないとき、他人の健康な臓器を移植して機能を回復させる治療法を、臓器移植とよびます。

移植に提供できる臓器は、心臓、肺、肝臓、腎臓、膵臓、小腸および眼球（角膜）です。この臓器移植は、臓器を提供する第三者の善意があつて初めて成り立つ医療です。

死後に臓器を提供する（こと）とは、自分で決定できる権利です。「提供したい」「提供したくない」、どちらの考えも等しく尊重される

## いきいきライフ

### 臓器・骨髄の提供

#### 臓器提供意思表示カード

厚生労働省・(公社)日本臓器移植ネットワーク



ドナー情報用全国共通連絡先 0120-22-0149

臓器移植に関するお問い合わせ先：(公社)日本臓器移植ネットワーク  
フリーダイヤル 0120-78-1069 <http://www.jotnw.or.jp>

「臓器提供意思表示カード」。近年は意思表示欄が設けられた運転免許証や健康保険証も増えている

ます。大切なことは、自分対して、移植を受けることの考えを伝えるため、日頃ができる方は年間およそ三から私たちが臓器提供について考え、その意思を示すことは、誰かの命を救うことにもつながります。

現在、日本で臓器の提供を待っている方は、およそ一万三千人います。それに

本臓器移植ネットワークのホームページから登録する  
③意思表示欄のある健康保険証や運転免許証に記入し  
携帯する、の三つあります。登録時には骨髄移植の詳細な説明を受け、白血球の型を調べるため約2ミリの採血を行います。

提供には必ず家族の承認が必要ですが、本人の意思が不明な場合も家族の承諾だけで提供できます。今年、県内各地で街頭キャンペーンを実施することにも

県では、臓器移植・骨髄バンク普及推進月間である十月を中心に、移植医療への理解と意思表示の協力を呼び掛けています。

臓器の他に、移植医療には骨髄の移植もあります。骨髄移植は、白血病や再生不良性貧血等の血液難病の有効な治療法とされています。骨髄を提供したいという方は、「骨髄バンク」ヘッドを登録できます。登録で

「臓器提供意思表示カード」。近年は意思表示欄が設けられた運転免許証や健康保険証も増えている

提供には必ず家族の承認が必要ですが、本人の意思が不明な場合も家族の承諾だけで提供できます。今年、県内各地で街頭キャンペーンを実施することにも

臓器の他に、移植医療には骨髄の移植もあります。骨髄移植は、白血病や再生不良性貧血等の血液難病の有効な治療法とされています。骨髄を提供したいという方は、「骨髄バンク」ヘッドを登録できます。登録で

## 「命つなぐ尊さ」考えて

「命つなぐ尊さ」を考えて、ご家族や身近な大切な人と話し合ってみてはいかがでしょうか。

(県地域医療課)

健康